

# 小規模事業者 景気動向調査報告書

平成 30 年度第 3 四半期

(平成 30 年 10~12 月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市中央通 3 丁目 5 - 1

TEL 0982 (33) 6666

FAX 0982 (33) 6682

## I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	237事業所
2. 回答事業所数	48事業所
3. 回答率	20.3%
4. 業種別内訳	
製造業	3事業所
建設業	3事業所
卸売業	4事業所
小売業	11事業所
サービス業	27事業所
合計	48事業所

### 5. 実施時期

平成31年 2～3月

### 6. 調査対象期間

平成30年 10月～12月（第3四半期）

### 7. 調査内容

調査対象期間である1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況を調査した（D I 値の集計）。

### ※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

### 8. 調査方法

調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

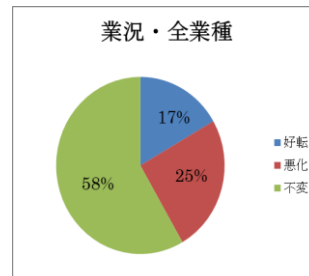
## Ⅱ. 概況

### 1. 全業種の業況

前年同期比のDI値は▲8.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は16.7%、悪化したと回答した事業所が25.0%、変わらないと回答した事業所は58.3%だった。

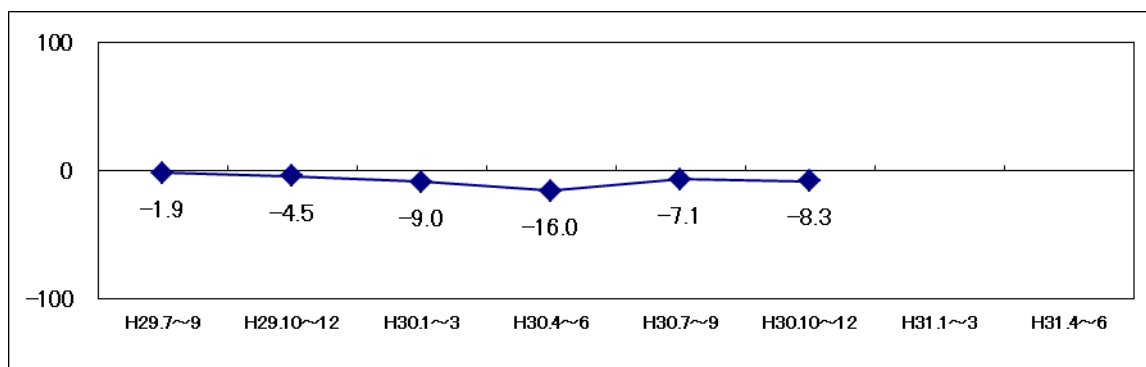
10～12月は、建設業・卸売業・サービス業では人手不足による人件費の上昇や仕入れ価格の上昇などにより業況は悪化。製造業・小売業では販路の拡大や公共事業の受注などにより業況が改善。



来期見通し(1～3月)については、製造業・小売業・サービス業では人件費の上昇や仕入れ価格の上昇などにより業況は悪化の見通し。一方、建設業の業況は改善の見通し。

	H30.1～3	H30.4～6	H30.7～9	H30.10～12	H31.1～3 見通し
全業種	▲9.0	▲16.0	▲7.1	▲8.3	▲29.2
製造業	20.0	▲45.5	▲16.7	0.0	▲33.3
建設業	0.0	▲9.1	20.0	0.0	33.3
卸売業	▲33.3	▲25.0	▲28.6	▲50.0	▲50.0
小売業	▲31.6	▲35.7	▲23.1	18.2	▲18.2
サービス業	▲2.6	0.0	▲2.9	▲14.8	▲37.0

全業種 DI の推移



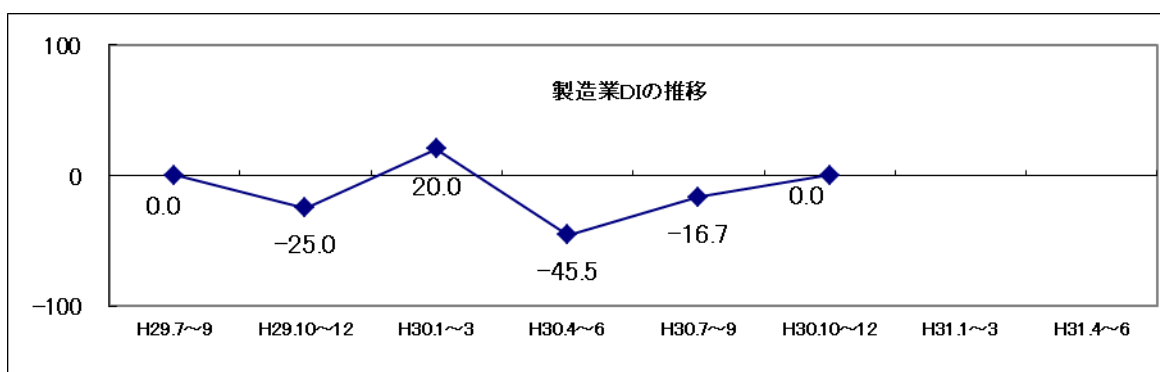
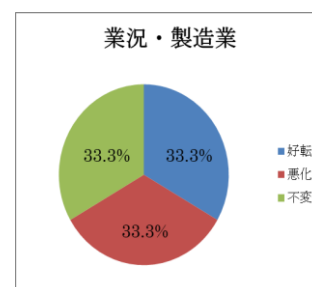
## 2. 業種別の概要

### ① 製造業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は33.3%、悪化したと回答した事業所が33.3%、変わらないと回答した事業所が33.3%だった。

製造業からは「販路開拓に力をいれたことにより販売先が増加した」（菓子製造業）等が業況を示す意見として挙げられている。来期見通しD I 値は▲33.3ポイントで、悪化する見通しとなっている。

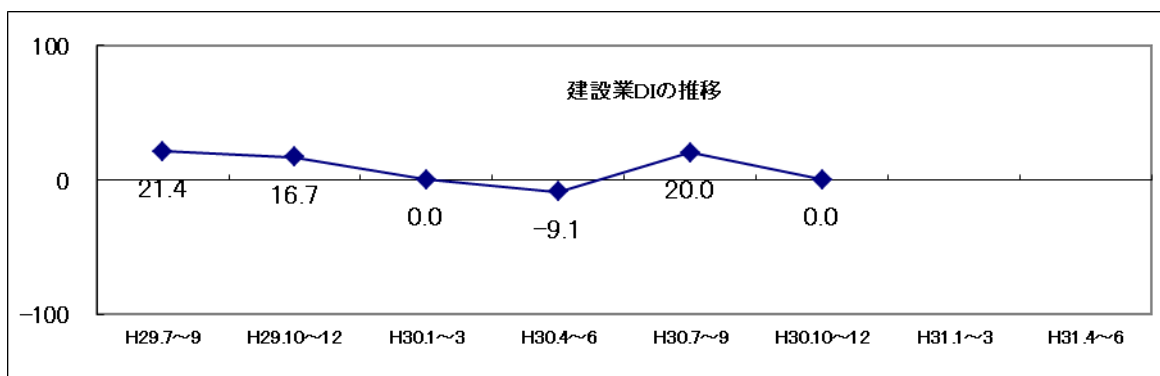
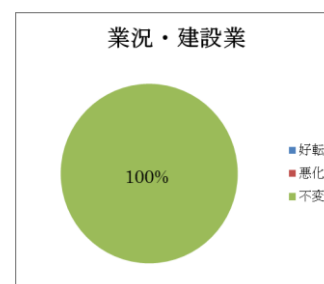


### ② 建設業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が0.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、悪化したと回答した事業所は0.0%、変わらないと回答した事業所は100%だった。

来期見通しのD I 値は、0.0ポイントで、横ばいの見通しとなっている。



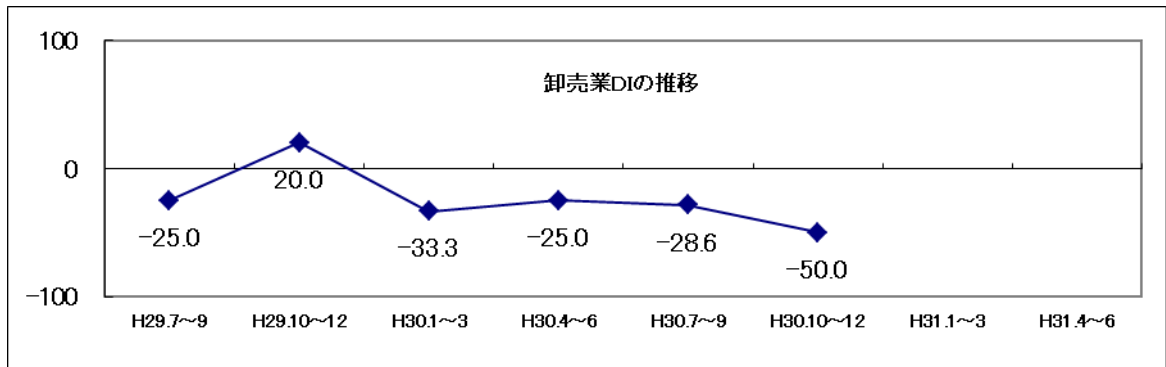
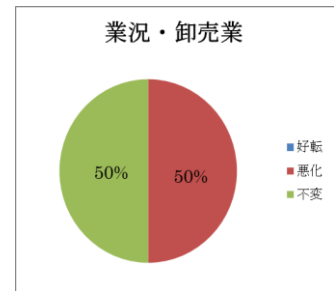
③ 卸売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲50.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、悪化したと回答した事業所が50.0%、変わらないと回答した事業所は50.0%だった。

卸売業からは、「売上は増加しているが仕入も上がり、利益率が下がっている。人手不足で時給を上げないと人材が確保出来ない」（生花等卸売業）「車のハイブリット化・高性能化により部品の交換頻度が低くなっている。」（自動車部品販売業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期の見通しD I 値は、▲50.0ポイントで、横ばいの見通しとなっている。



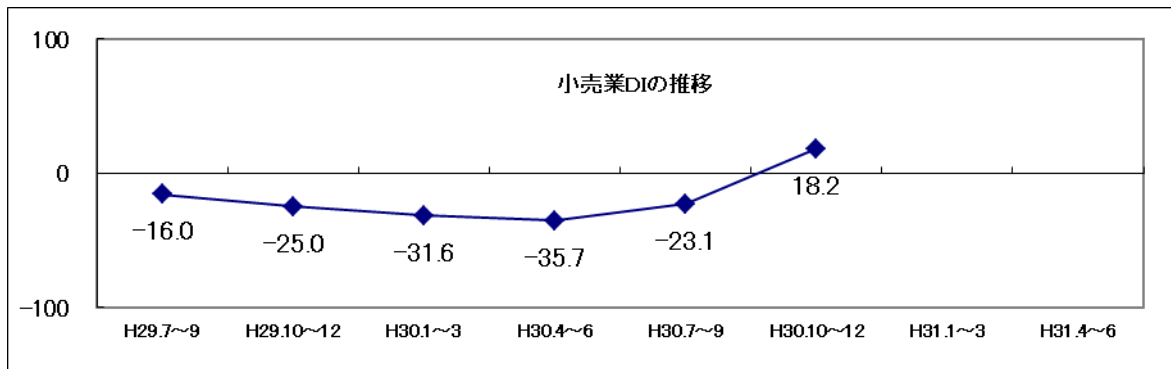
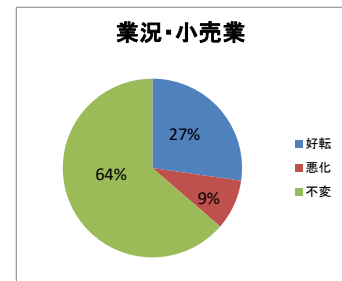
④ 小売業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が18.2ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は27.3%、悪化したと回答した事業所は9.1%、変わらないと回答した事業所は63.6%だった。

小売業からは、「業界の市場が縮小気味になっている」（時計・貴金属販売業）や、「底打ち状態が続いているが、これ以上の悪化はないと思う」（写真材料小売業）等が業況を示す意見として挙げられている。

来期の見通しD I 値は、▲18.2ポイントで、悪化する見通しとなっている。



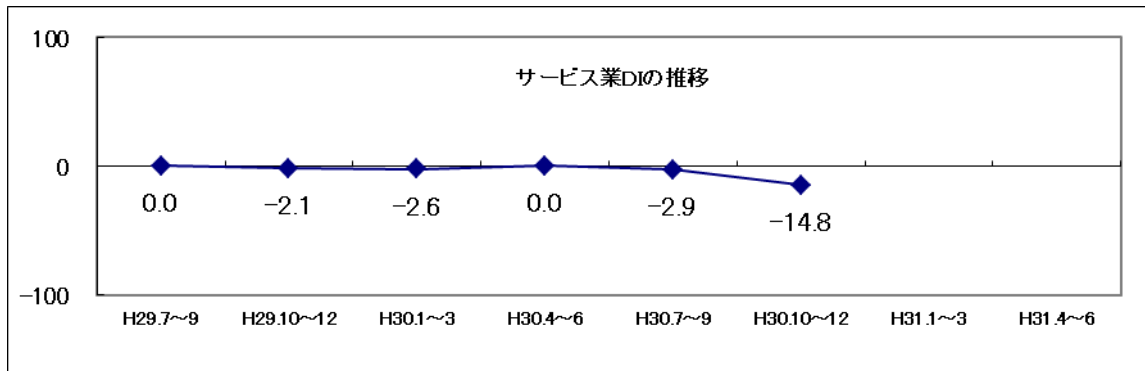
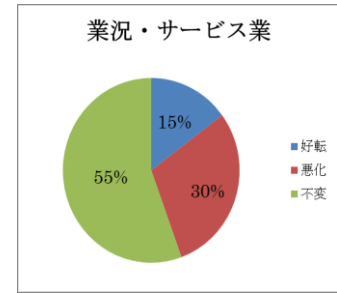
⑤ サービス業の業況判断は、

前年同期比のD I 値が▲14.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は14.8%、悪化したと回答した事業所は29.6%、変わらないと回答した事業所は55.6%だった。

サービス業からは、「売上は不変に近いものの、人件費の上昇と仕入価格の値上げなどで苦戦している。」（飲食店）、「リース会社である以上売上は大きく伸びないが、多少なりとも努力の甲斐もあって好転しています。」（リース業）等が業況を示す意見として挙げられている。

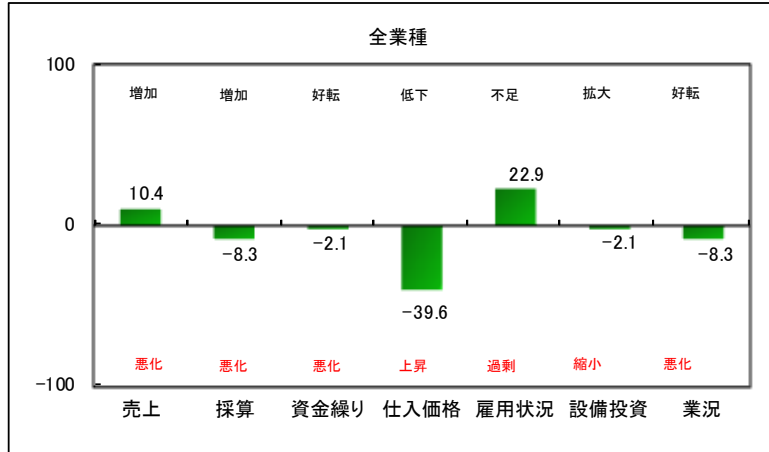
来期見通しD I 値は、▲37.0ポイントで、悪化する見通しとなっている。



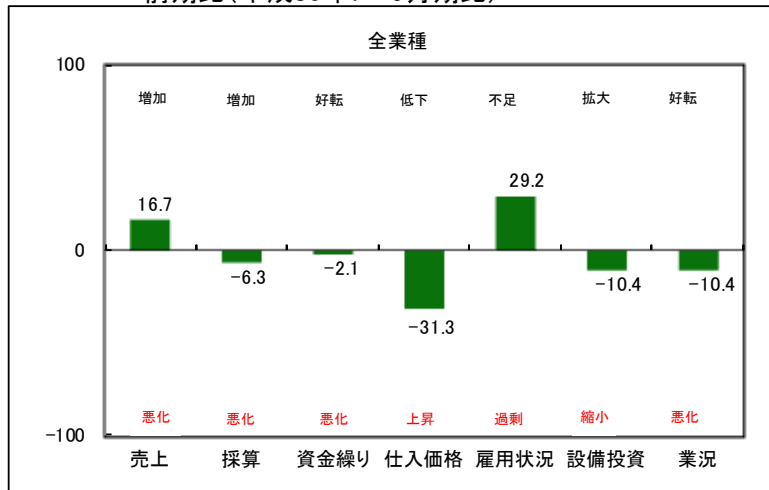
## 市内景気動向

### 全業種

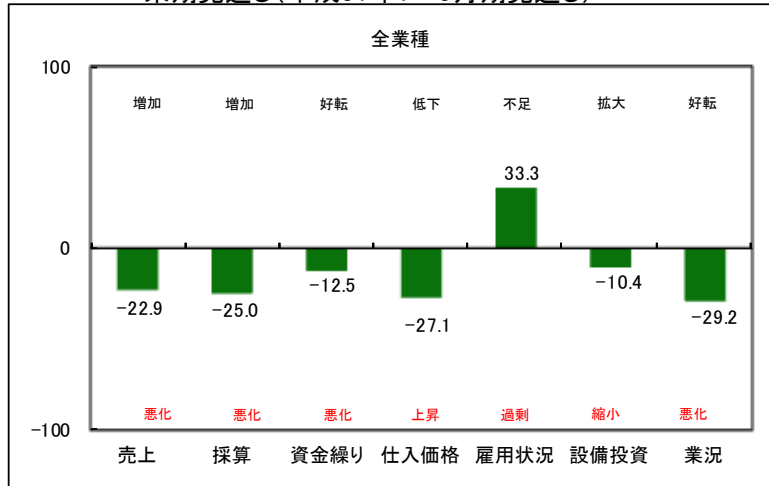
前年同期期比(平成29年10~12月期比)



前期比(平成30年7~9月期比)



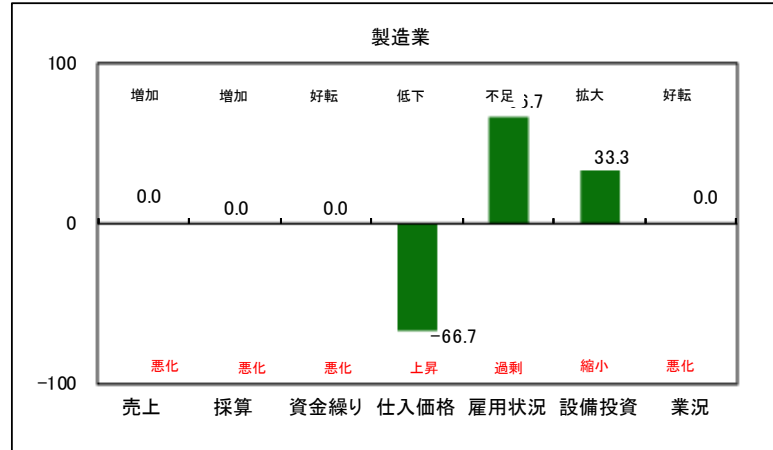
来期見通し(平成31年1~3月期見通し)



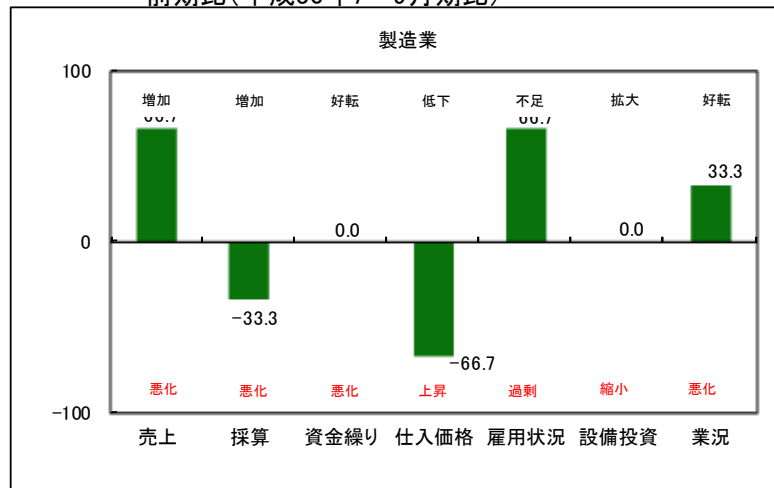
## 業種別景気動向

### 製造業

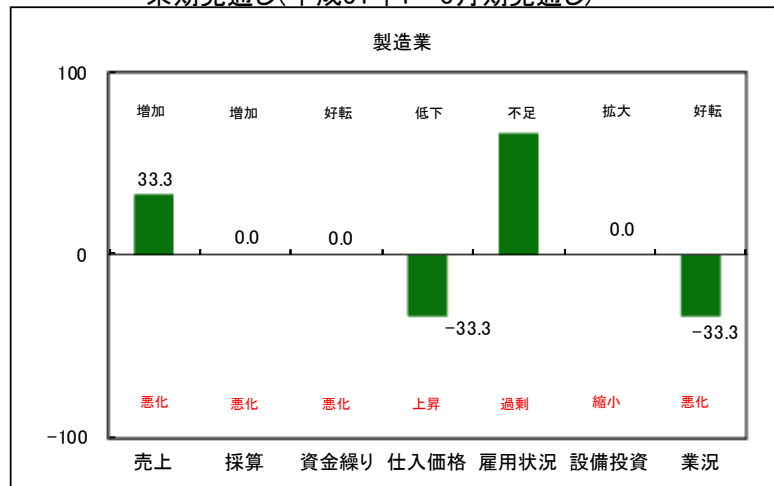
前年同期期比(平成29年10~12月期比)



前期比(平成30年7~9月期比)



来期見通し(平成31年1~3月期見通し)

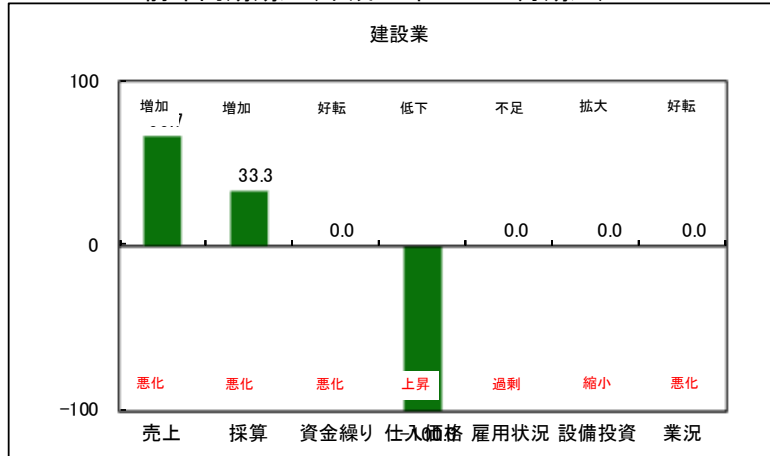




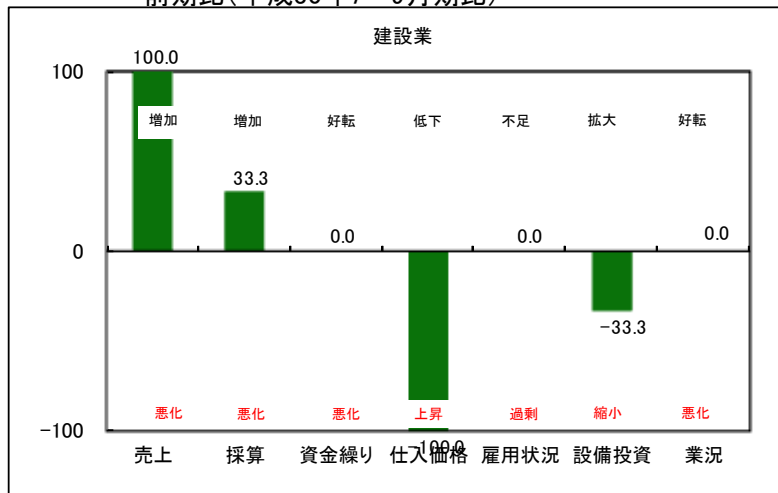
## 業種別景気動向

### 建設業

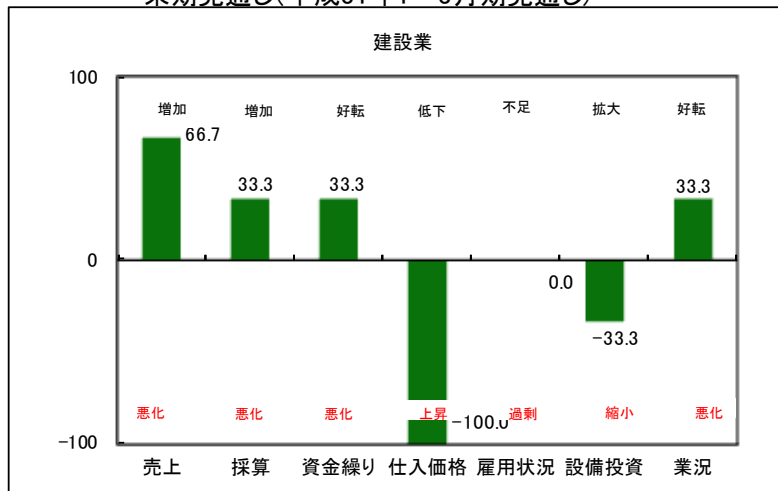
前年同期期比(平成29年10~12月期比)



前期比(平成30年7~9月期比)



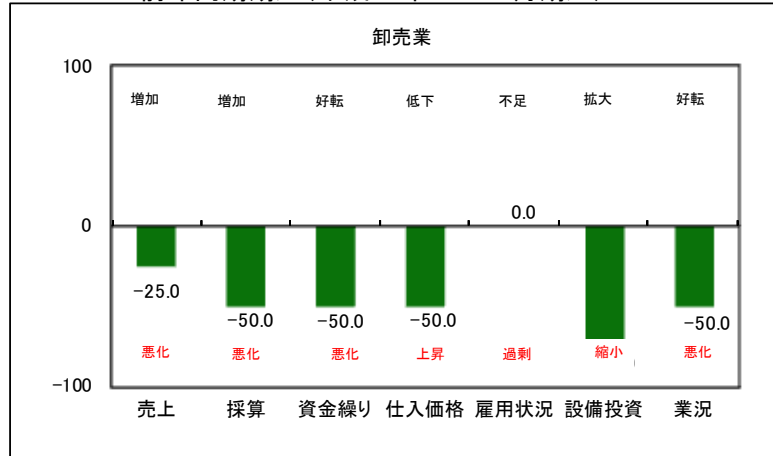
来期見通し(平成31年1~3月期見通し)



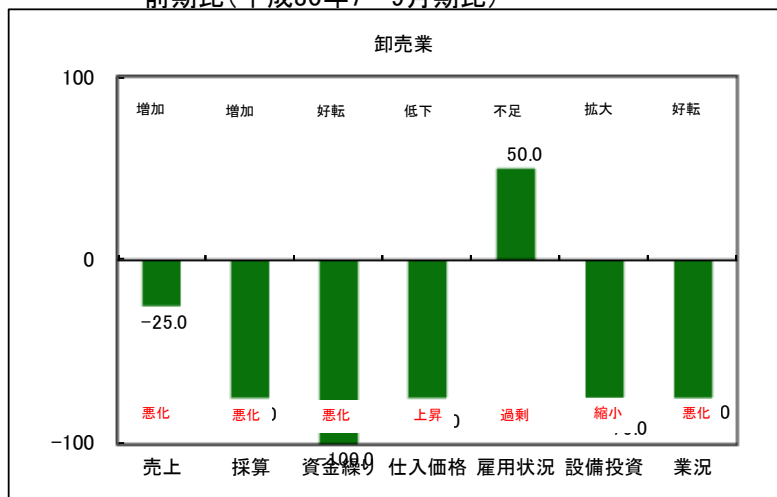
## 業種別景気動向

### 卸売業

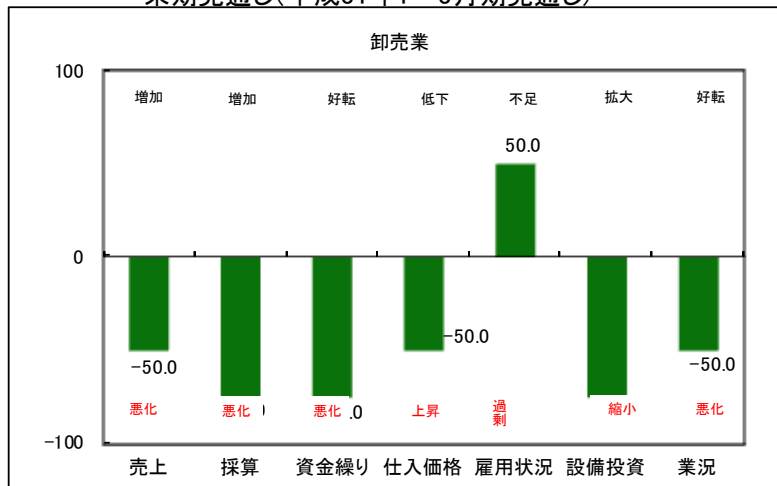
前年同期期比(平成29年10~12月期比)



前期比(平成30年7~9月期比)



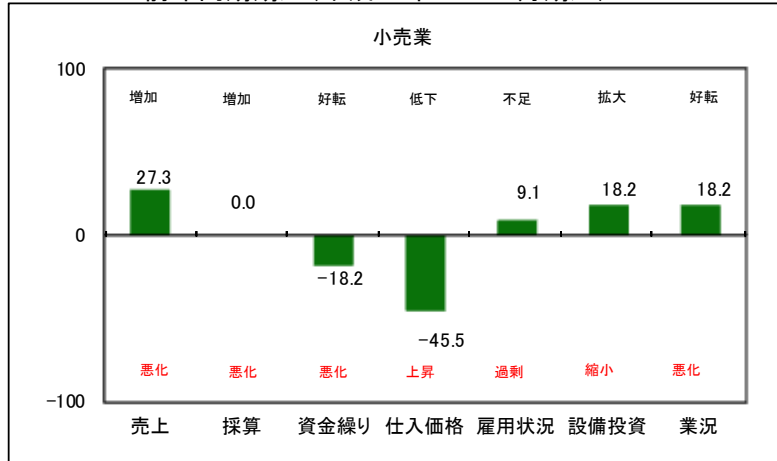
来期見通し(平成31年1~3月期見通し)



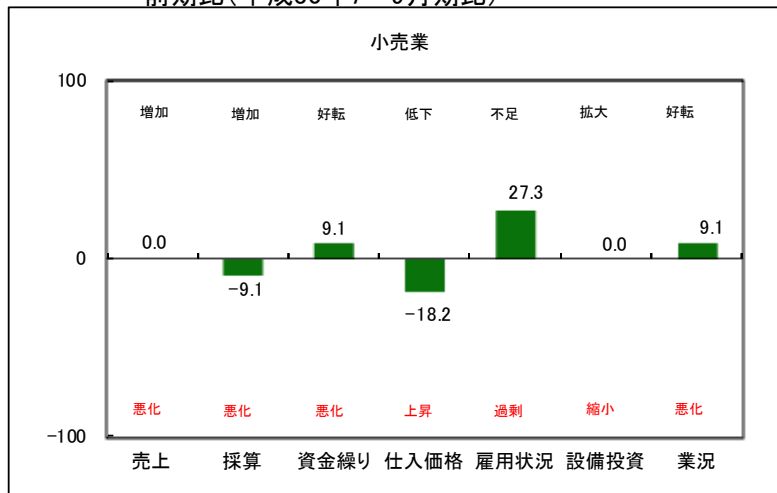
## 業種別景気動向

### 小売業

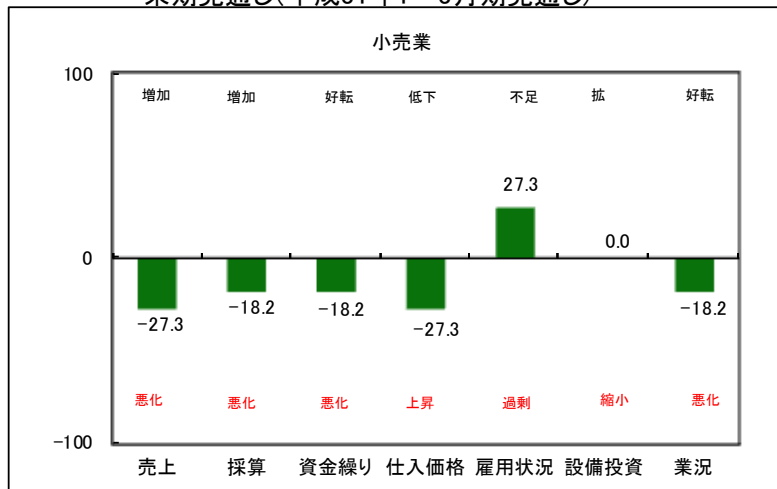
前年同期期比(平成29年10~12月期比)



前期比(平成30年7~9月期比)



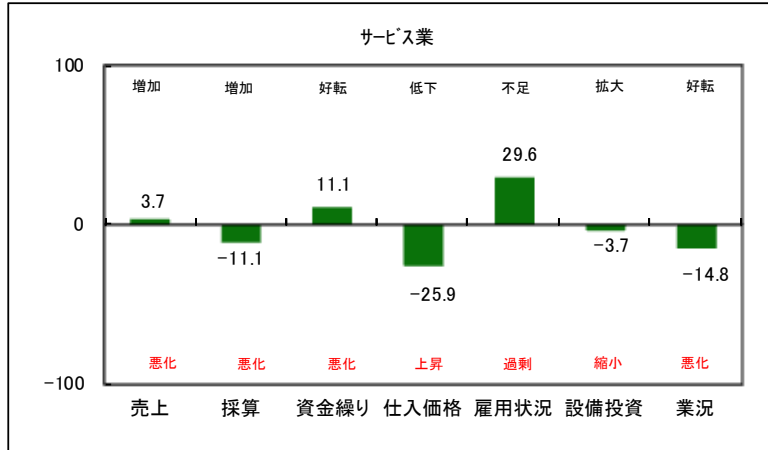
来期見通し(平成31年1~3月期見通し)



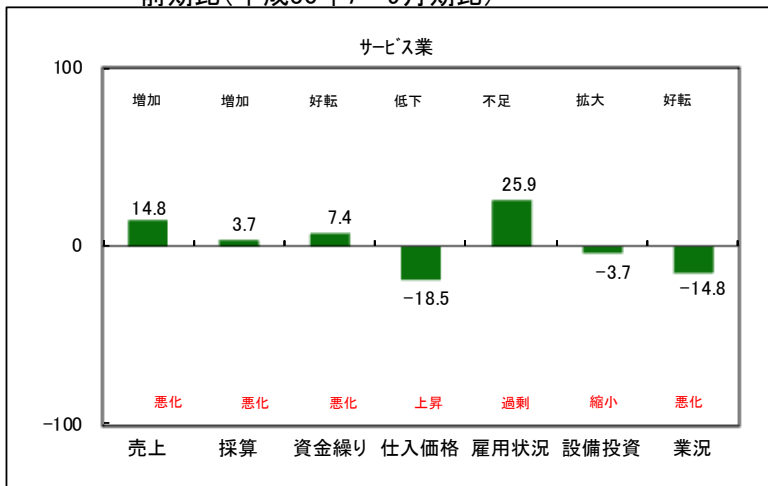
## 業種別景気動向

### サービス業

前年同期期比(平成29年10~12月期比)



前期比(平成30年7~9月期比)



来期見通し(平成31年1~3月期見通し)

